

東京都の発言要旨

【地方創生について】

＜舛添知事＞

・ 東京だけが問題の源であって、東京をやっつければ済むみたいな雰囲気にはしてほしくない。お互いに何とか努力をしながら建設的に東京もその他の地域も一緒に頑張っていくという方向性を出していければと思う。戦後70年かけてきた政策を大きく発想、パラダイムを転換しないといけない。東京の方々が地方に出て行かないのはマイホームの処理に困るからであり、それは持ち家政策の破綻が原因ではないか。戦後日本の政策全体が見直しを問われている中で、少子化対策であり、地方創生であるという視点が必要と考える。

【地方税財源の確保・充実について（1）】

＜舛添知事＞

・ 地方の仕事に見合う金を国が出すべきで、地方間で取り合うことは本来正しい姿ではない。地方全体で財源不足は続いてきており、地方間の偏在是正だけに特化すれば、減収につながる団体も出てくる。地方の役割に見合った財源を国に要求するかたちでまとめてほしい。法人住民税、法人税割の交付税原資化をさらに進めるべきという点、現行制度の持つ偏在是正措置を十分に踏まえた措置を講じるという点は賛同しにくい。都市と地方の共存、共栄に向けた取り組み、日本全体を活性化させていきたい。



【地方税財源の確保・充実について（２）】

＜舛添知事＞

- ・（修文案提示を受け）仕事の量に見合った財源を、国が地方に渡すべきであるという大きな根幹は主張し続けたい。
- ・参議院の選挙制度改革について、法案が衆議院を通過したが、地方財源の問題は、地方と地方のあり方、地方の選挙制度のあり方にかかわる問題であるので、長期的視点から知事会としてもこういう問題に取り組んでいくべきである。

【総合戦略・政権評価特別委員会における「憲法と地方自治」の検討について】

＜舛添知事＞

※「憲法と地方自治」をテーマとした有識者による研究会設置の提案を受けて発言

- ・（国の選挙制度の見直しについては）憲法解釈の問題だが、例えば地方代表制を参議院でやるならば、それを明記する憲法改正をやったほうが明確であると思う。地方自治のところは、相当項目を増やさないといけないとだめだと思っている。地域代表としての参議院ということについて、きちんとした取りまとめを憲法学者を含めての検討をぜひお願いしたい。

【遠藤東京オリンピック・パラリンピック競技大会担当大臣との意見交換】

＜舛添知事＞ ※開催都市の知事として発言

- ・この大会の成功は、東日本大震災の被災地の復興が不可欠。被災された各県の皆さんと連携しながら、スポーツの力で復興協力を推し進めていきたい。
- ・開催の５年前の節目の日に大会公式エンブレムを発表した。エンブレムの由来のように心をつなげて、2020年大会に向かっていきたい。各道府県においてもスポーツ振興、文化、観光、さまざまな地域の持つ魅力の発信をやりながら、大会の盛り上げにご協力いただき、皆さんと協力して史上最高の大会にしたい。

